

であった。

質問： 宮川（東大 放射線科）

Ga-67 は非常に便利な核種と思うが、その正体がさっぱり判明しないのが、現況だと思います。

人体に正常にある核種で Ga に似たものは何かありますか。たとえば Sr に対して Ca 程度の類似性のある核種は Ga に対して何かありますか。

22の方あるいは他の方でも結構です。

回答： 原 敏彦（国立中野病院）

- 1) Ga のほかにさまざまの遷移金属やラントニド金属がトランسفェリンと結合することが知られています。
- 2) Ga を強くとりこむ細胞は癌細胞そのものであるよりは癌病巣は現われる隨体細胞 (macrophage など) であるといわれています。

23. ^{67}Ga -citrate による肺疾患のシンチグラム

木下 文雄, 牛尾 晉夫, 前川 全

甲田 英一

(都立大久保病院)

^{67}Ga -citrate を用い、諸種肺疾患130例についてシンチグラフィを行ない、次のとおり成績を得た。

1) 肺癌70例では高度陽性像62例、軽度陽性像7例、陰性像1例のみであった。

病理組織像別による差異は、扁平上皮癌、未分化癌は腺癌に比し陽性度が高いと思われた。

腫瘍の大きさは直径 2 cm 前後では摂取率が高ければよく描出し得た。

肺癌の肺転移、淋巴節転移にも高率に摂取され、縦隔内の淋巴節転移を描出し得たことは、診療上甚だ有用であった。

同様のことは胸水貯留時や心陰影と重なった病巣についてもいえ、症例で供覧した。

^{60}Co 照射後のシンチグラムは、癌腫の感受性による差異が明らかで、X線所見の腫瘍の消褪、縮小にほぼ比例して、陽性像も消失、非薄化し、治療上有用な情報を提供した。

2) 転移性肺癌18例は全例陽性像を示し、その中軽度陽性像は1例のみで、1.5 cm 前後的小腫瘍でも良く描出され、胃、腸、子宮、脾など原発巣が ^{67}Ga -citrate により描出し難い症例でも転移は良く描出され、その矛盾も検討した。

3) 炎症性病変は、肺炎、肺化膿症、気管支拡張症など、急性、亜急性など炎症が活動性の場合は明瞭な陽性像を示した。また肺結核でも病変が活動性の時は明瞭な陽性像を示し、硬化性肺結核、結核種などでは陰性像を示した。

4) サルコイドーシスの3例はいずれも高度陽性像を両側肺門部に示した。

以上 ^{67}Ga -citrate による肺疾患シンチグラムの臨床的評価を症例を供覧し検討した。

24. ^{67}Ga -Citrate による悪性リンパ腫のスキャンニング

山岸 嘉彦、長谷川正浩、小林 直紀

渡部 英之、行武 純一、椎葉 忍

唐沢 正明、本多 一義

(日本医大附属病院放射線科)

我々は1970年以来、 ^{67}Ga -Citrate による腫瘍スキャンニングを行ない、診断、治療及び予後の判定等に有効であることを認め、報告を重ねて来た。今回は悪性リンパ腫の症例についてこれを行なったので以下に報告する。

対象は昭和45年3月から昭和47年12月迄に経験した25例の悪性リンパ腫でスキャン回数は37回であった。

^{67}Ga -Citrate の使用量は 1~2 mCi、静注後 24 時間、48時間または72時間でスキャンした。一部の小児症例では 0.5 mCi あるいはそれ以下にとどめた。装置は東芝製 RDA-106-1 型、スキャンスピードは 66 cm/分~90 cm/分であった。

得られた結果は次のとくであった。すなわち未治療例では85%に陽性像を認めたが、既治療例では11.7%であった。特に初回極めて明瞭な陽性を示したものも、治療により、すべての例に陰性化が認められた。また放射線治療の照射野決定に有効である例が多かった。

	土	+	土	-
細網肉腫14例20回				
未治療	11	4	5	2
既治療	9	0	1	5
リンパ肉腫	6	10		
未治療	5	3	2	0
既治療	5	0	0	5
ホジキン	2	4		
未治療	1	1	0	0